

# 令和4年度 事業報告書

# I 事業報告

## 1 事業概要

令和4年度の日本経済は、民需中心に緩やかな持ち直しの動きとなっていたが、ロシアのウクライナ侵略を背景とした原材料価格の高騰や急速な円安進行という新たな試練を迎えることとなった。一方、企業を取り巻く環境は、原材料コストの上昇、世界経済の減速懸念など楽観視できる状況ではなかったが、海外需要の取り込みや国内経済の回復等を背景にコロナ禍で長らく抑えられてきた民間投資が力強さを見せた。

埼玉県内の経済情勢においては、新型コロナウイルス感染症の影響の改善が見られ、緩やかな持ち直しの動きが続いた一方、先行きについてはやや慎重さがみられた。

このような中、当社は、県内中小企業等に対し、幅広い分野の経営相談を行うとともに、創業支援やデジタル技術などの活用支援を実施した。また、新産業分野のイベントや大型展示商談会を3年ぶりにリアル実施するなど、中小企業の発展と県内産業全体の活性化に資する様々な事業の展開に努めた。

令和4年度に実施した主な取組の概要は以下のとおりである。

### (1) 経営支援

経営革新に取り組む県内中小企業・小規模事業者から寄せられる幅広い分野の経営相談に対応するとともに、専門性の高い分野である高度人材（プロフェッショナル人材）採用、事業継続力強化計画策定、事業承継等の支援を行った。また、中小企業のSDGs経営の理解を深めるためにセミナーを実施した。

### (2) 創業・ベンチャー支援

創業予定者や新規創業者を対象とした相談業務や、各ステージに合わせた創業セミナーを開催するとともに、ベンチャー企業の成長を促進するためビジネスマッチング等を実施した。また、新しい技術やアイデアにより社会課題の解決を図ろうとする創業希望者に対し、伴走型の集中支援を行うとともに、県内の人口減少が著しい地域の創業を支援するため、起業支援金を補助し、地域課題の解決を目指す創業希望者を支援した。

### (3) 販路開拓支援

#### ① 取引振興

「彩の国ビジネスアリーナ2023」を3年ぶりにリアル実施するとともに、オンライン展示も継続し、初めてのハイブリット方式で開催した。また、商談会等をリアル実施するとともに、オンライン上での常設ビジネスマッチングサイトを構築し、広域的な販路開拓・受発注取引拡大の機会創出を図った。さらに、取引マッチングコーディネーターや職員が企業訪問等を通じて収集した受発注取引に係る企業ニーズに基づくビジネスマッチングにより、受注企業の取引拡大を支援した。

#### ② 海外ビジネス展開支援

海外展開に関する企業ニーズを把握し、日本貿易振興機構（ジェトロ）埼玉貿易情報センター（以下、「ジェトロ埼玉」という。）との連携により企業の実情に合わせた支援を行った。また、海外EC活用経費の一部を補助するとともに、海外ECサイトに「埼玉県特設ショップ」を開設し、eコマースを活用した販路開拓の取組を支援した。

### (4) 新産業振興

#### ① 技術開発サポート

カーボンニュートラルやデジタル化など、企業を取り巻く環境が変化する中、新たな技術・製品の開発に挑む県内中小企業を支援するため、産学連携や企業間連携、専門家による伴走支

援等により、新技術・製品の開発や販路開拓を支援した。

② デジタルテクノロジー活用支援

県内中小企業におけるA I、I o Tの導入・活用を促進するため普及啓発セミナーや人材育成研修を開催した。また、埼玉県D X推進支援ネットワークの事務局として情報を一元的に発信するウェブサイトを運営管理し、併せてマッチング相談やD X推進人材の育成を実施した。

③ 産学連携支援

県内中小企業における産学連携による新技術や新製品の開発を促進するため、大学や研究機関とのマッチング、競争的資金の獲得、販路開拓などを支援した。

④ 知的財産支援

県内中小企業の知的財産の創造・保護・活用を促進するため、ワンストップで知的財産に関する相談に対応した。また、知的財産を活用した経営戦略の策定支援を実施した。

⑤ 業態転換支援

脱炭素化や急速なE Vシフトを背景に、産業構造や市場ニーズが急速に変化する中、業態転換や新分野への進出を目指す県内企業の取組を支援した。

(5) 人材育成・情報支援

① 新入社員から経営幹部までの各層に合わせた階層別研修や生産力向上研修などを総合的・体系的に実施し、県内中小企業の人材育成を支援した。新型コロナウイルス感染症の再拡大等の影響による受講控えや受講キャンセルがあったものの、企業ニーズの高い階層別研修の追加実施やW E B研修の開催によって受講者を確保した。

② 情報誌や会員優待セミナー等を通じて企業経営に役立つ情報を幅広く提供するとともに、I C Tスキルアップ研修等を実施して中小企業におけるI C Tの有効活用を支援・促進した。

## 2 評議員会開催状況

日付	事項	摘要
4月1日	第1回評議員会	理事の選任
6月6日	第2回評議員会	令和3年度事業報告及び決算及び理事の選任

## 3 理事会等開催状況

日付	事項	摘要
4月1日	第1回理事会	評議員会の招集（理事の選任）
4月1日	第2回理事会	専務理事の選定
5月16日	監事監査	令和3年度事業報告書及び決算報告書の監査
5月20日	第3回理事会	令和3年度事業報告及び決算及び評議員会の招集（理事の選任等）
6月6日	第4回理事会	理事長及び専務理事の選定
10月31日	第5回理事会	事業計画の一部変更及び収支予算の補正及び令和4年度事業中間報告
3月13日	第6回理事会	中期経営計画（令和5～7年度）の原案及び令和5年度事業計画及び予算等

#### 4 役員の変動状況

就 任

役 職 名	氏 名	就 任 日	備 考
専務理事	田 中 健	4月 1日	

退 任

役 職 名	氏 名	退 任 日	備 考
専務理事	堀 口 幸 生	4月 1日	

## Ⅱ 事業実施状況

### 1 経営支援

#### ① 経営相談の実施

職員等による窓口相談、弁護士による法律相談を実施した。

相談件数	主な相談内容	
1, 395件	経営全般（下記以外を含む）	899件
	BCP	411件
	I S O	41件
	法律	26件
	技術	15件
	I T活用	2件
	経営革新計画	1件

#### ② 支援専門家の派遣

ア 専門家派遣を行うため、支援専門家の登録を実施した。

支援専門家の登録者数	内 訳	
244人 *複数資格保有者がいるため、登録者数と内訳の合計は一致しない。	中小企業診断士	129人
	企業等OB人材	50人
	技術士	19人
	マネジメントシステム専門家	14人
	I T関係専門家	15人
	公認会計士・税理士	7人
	社会保険労務士	11人
	弁護士・司法書士・弁理士	7人
	販売士	10人

イ 経営、技術などに関する課題を解決するため、支援専門家を活用して診断助言を実施した。

(ア) アドバイザーの配置 3名

(イ) 支援企業数、派遣日数等

支援企業数	派遣日数	主な支援テーマ
15社	116日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs活動を浸透させる仕組みの構築</li> <li>・デザイン思考を取り入れた事業構造の抜本的な見直し</li> <li>・販路開拓と設備稼働率向上など</li> </ul>

ウ 経済産業省中小企業庁で実施している「中小企業119」の専門家派遣を活用して、経営革新に取り組む中小企業に対して診断助言を実施した。

支援企業数	派遣日数	主な支援テーマ
7社	7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・I o T化によるNC旋盤の生産性向上</li> <li>・I Tを活用した事務管理の効率化</li> <li>・I Tを活用した資金繰り管理や原価管理の見直し</li> </ul>

③ 中小企業三大課題集中取組事業

県内中小企業の重要課題である「事業承継」「人手不足対応」「外国人材活用」の専門的知見を有するアドバイザーが課題解決を支援した。

ア	アドバイザーの配置	3名
イ	診断、課題整理	392件
ウ	課題解決	136件
エ	オンラインセミナー	1回

④ SDGs 経営推進事業

県内中小企業のSDGs経営の理解を深めるため、具体的な事例や取り組み方を紹介するオンラインセミナーを実施した。

ア スタートアップセミナー（1回）

開催日	テーマ	参加者数
1月26日	SDGsをビジネスに活かす 企業事例紹介	166人

イ テーマ別セミナー（3回）

開催日	テーマ	参加者数
12月12日	中小企業だからこそSDGs	21人
1月16日	カード体験実習を通じて 「持続的な未来に向けたSDGs」	20人
2月21日	SDGsウォッシュと揶揄されないためのサステナビリティ 対応と評価	38人

⑤ BCP策定支援事業

感染症対策を含む事業継続力強化計画の普及を図るため、計画策定支援を実施した。

ア	アドバイザーの配置	2名
イ	事業継続力強化計画策定支援	102社
ウ	事業継続力強化計画策定支援事例作成（連携型）	3事例

⑥ マネジメントシステム導入支援

ア マネジメントシステム導入支援

ISO等のマネジメントシステムを構築しようとする中小企業へのコンサルティングを実施した。

事業名	実績	概要
ISO等マネジメントシステム導入支援	6社	派遣回数 52回
		<支援先内訳>
		ISO9001 4社
		ISO14001 1社
		ISO9001とISO14001の統合 1社

ISOフォローアップ支援は、実績なし。

イ BCP導入支援

災害等の発生時における迅速な復旧と事業継続を目的に、中小企業における事業継続計画（BCP）の普及啓発及び策定支援を実施した。

事業名	実績	概要
BCP導入支援	1社	派遣回数 7回 <支援先内訳> 中小企業庁版BCP（基本）1社

⑦ 若手経営者支援【フォース21】

経営トップとしての資質の向上、人的ネットワークづくりや情報収集体制の構築等を支援するため、県内中小企業の後継者・若手経営者の交流組織「フォース21」を運営し、定例会及びグループ例会を開催した。（令和5年3月末現在9グループ、112名）

内容	実績
定例会	2回
分科会	4回
グループ例会	31回

⑧ 経営診断等事業

中小企業診断士資格を有する公社職員を活用し、川口市及び戸田市から中小企業の経営診断等を受託した。

事業名	実績	概要
起業相談会	11回	相談件数 16件
地域貢献診断	9件	企業数 9社
新技術診断	1件	企業数 1社

※新技術診断のみ戸田市の受託事業。

⑨ よろず支援拠点事業

県内中小企業・小規模事業者の経営支援体制をさらに強化するため、国の中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業を受託し、埼玉県内の「よろず支援拠点」の実施機関として、総合的・先進的経営支援を実施した。

ア チーフコーディネーター、コーディネーターの配置	27名
イ よろず支援拠点相談対応件数	15,742件
ウ よろず支援拠点課題解決件数	2,667件

⑩ 中小企業高度人材支援事業（プロフェッショナル人材戦略拠点）

高度人材（プロフェッショナル人材）の活用を通じて、県内中小企業が新たな取組に積極的に挑む「攻めの経営」に転換し、経営革新を進められるよう、プロフェッショナル人材戦略拠点を運営し、人材のマッチングをサポートした。

ア マネージャー、サブマネージャーの配置	9名
イ 相談件数	802件
ウ マッチング成約件数	204件
（うちデジタル人材マッチング	94件）
エ デジタル人材確保支援事業補助金の審査	94件
オ セミナー（4回）	

開催日	テーマ	参加者数
7月 5日	プロフェッショナル人材の活用メリット （春日部商工会議所青年部）	7社

開催日	テーマ	参加者数
7月19日	プロフェッショナル人材の活用メリット (上尾ものづくり協同組合)	14社
9月22日	プロフェッショナル人材の活用メリット (草加商工会議所青年部会)	15社
オンライン 11月18日 <オンデマンド 配信2月1日～ 2月15日>	『失敗しないデジタル化の進め方』	オンライン7社 (オンデマンド77回)

## ⑩ サービス産業事業者ICT・AI活用支援

サービス産業事業者のICT導入を推進するため、ICTの具体的な導入方法や活用事例等を紹介するセミナーを開催し、活用相談に対応した。

- ア コーディネーターの配置 3名  
イ 相談件数 184件  
ウ セミナー(11回)

開催日	テーマ	参加者数
4月21日	キャッシュレス導入セミナー	6人
6月8日	第1回DX普及セミナー	75人
7月29日	DX実践セミナーSTEP01	17人
9月8日	DX実践セミナーSTEP02	14人
10月5日	キャッシュレス決済普及セミナー	6人
10月19日	第2回DX普及セミナー	18人
10月27日	DX実践セミナーSTEP03	14人
11月29日	DX実践セミナーSTEP04	12人
1月20日	DX実践セミナーSTEP05	11人
2月1日～15日	商業・サービス産業事業者向けセミナー	54人
3月22日	デジタル活用の基礎セミナー	19人

## 2 創業・ベンチャー支援

### ① 創業相談

創業前、創業時、創業後の相談者の各ステージの課題解決を図るため、経験豊富な開業アドバイザーなどを配置して相談に対応するとともに、より専門的な相談に対しては、司法書士や税理士等の士業団体との連携による専門相談会を実施した。

- ア 相談件数

	実績
相談件数	3,678件 (うち 専門相談 28件 女性創業相談 1,804件)



イ 公的融資申請支援件数

内 容	申請受付件数
埼玉県制度融資	11件
日本政策金融公庫	32件

ウ 創業件数

	実 績
創業件数	302件

② セミナー等の開催

創業までの心構えから創業後のマーケティング等まで、創業の各ステージに合わせたセミナー等を開催した。

内 容	開 催 日	参加者数
起業準備セミナー（入門編） ～起業のイメージを具体化しよう！～	① 6月 3日	27人
	② 8月27日	16人
	③ 11月17日	23人
起業準備セミナー（ビジネスプラン作成編） ～起業に向けた計画づくりに着手しよう！～	① 6月28日	24人
	② 9月27日	12人
	③ 12月17日	23人
起業実務手引きセミナー	① 7月27日	22人
	② 10月22日	19人
	③ 1月28日	25人
起業実務手引きセミナーin戸田	1月12日	22人
創業者のための経営の基礎シリーズ 経理・税務の基礎セミナー	① 7月20日	26人
	② 2月 3日	30人
創業者のための経営の基礎シリーズ はじめての確定申告オンラインセミナー	1月14日	29人
創業者のための経営の基礎シリーズ 求人・雇用の基礎セミナー	① 9月29日	24人
	② 3月 4日	20人
創業者のための経営の基礎シリーズ 販路開拓の基礎セミナー	① 8月24日	16人
	② 2月25日	25人
創業者のためのWeb活用セミナー（基礎編）	① 5月19日	20人
	② 9月 3日	17人
	③ 1月18日	15人
創業者のためのWeb活用セミナー（実践編）	① 6月24日	22人
	② 11月10日	14人
	③ 3月 9日	34人
創業者のためのWeb活用セミナー （ネットショップ開設編）	① 7月 9日	15人
	② 3月15日	23人
創業者のためのWEBマーケティングの基礎セミナーin川口	2月13日	23人
集客のためのGoogle入門講座	3月24日	61人
令和4年度 Saitama Startup School 創業オンラインスクール（夜間オンラインクラス）	① 8月 2日	37人
	② 8月 9日	35人
	③ 8月23日	32人
	④ 8月30日	29人

内 容	開 催 日	参加者数
令和4年度 Saitama Startup School 創業オンラインスクール（土曜リアルクラス）	① 10月 8日	26人
	② 10月15日	26人
	③ 10月29日	26人
	④ 11月 5日	25人
令和4年度 Saitama Startup School 創業オンラインスクール（土曜オンラインクラス）	① 12月 3日	29人
	② 12月10日	27人
	③ 12月17日	23人
	④ 1月 7日	25人
エリアコミュニティで起業しよう！ ～起業起業セミナー&県北のエリアコミュニティを見に行こう！～	① 7月24日	16人
	② 8月21日	13人
	③ 9月11日	11人
	④ 10月 2日	11人
	⑤ 10月29日	7人
起業人育成講座（オンライン）「起業に向けた資金調達」	① 12月 7日	32人
	② 1月18日	20人
起業へ一歩前進セミナー	4月27日	26人
起業へ一歩前進セミナー in 戸田	7月 7日	16人
起業へ一歩前進セミナー （小川町、小川町商工会、嵐山町共催）	10月 4日	20人
起業へ一歩前進セミナー in 白岡	12月20日	13人
創業者のためのインボイス制度解説オンラインセミナー	11月12日	18人
インボイス・電帳法・会計システム解説セミナー	3月20日	47人
シニアのための起業入門セミナー in 羽生	8月24日	16人
SAITAMA over50 シニア起業塾（2日間コース）	① 2月 4日	32人
	② 2月18日	30人
1から始める起業塾 ～セカンドキャリアの起業を応援！～	① 10月 8日	124人
	② 10月29日	72人
	③ 11月 5日	82人
若者のための起業入門セミナー	8月 5日	10人
私にもできる！起業入門セミナー in 川島町	10月18日	10人
私にもできる！起業・副業入門オンラインセミナーin 三郷	6月29日	20人
私にもできる！起業・副業入門セミナー in 鴻巣	8月 9日	21人
副業から始める起業セミナー	4月21日	21人
副業から始める起業入門セミナー in さいたま	11月26日	32人
計	64回	1,687人

### ③ 女性の創業支援

#### ア 女性起業支援施設の運営

「女性起業支援ルームCOCOオフィス」を管理・運営し、利用者からの相談にアドバイザーが対応するとともに実践的なセミナーを開催した。

- (ア) 利用者数 27名（令和5年3月31日現在）
- (イ) 相談件数 69件（女性創業相談を含む）
- (ウ) COCOセミナー等 11回 参加者数 111名

イ 女性創業支援チームの運営

女性創業支援アドバイザーを配置し、女性のビジネスの立ち上げ時から成長期までの創業相談などに対応した。

ウ 女性創業スタートアップ塾

開催日	延べ参加者数	会場
6月11日、18日、7月2日、16日、8月6日（全5日間）	82人	新都心ビジネス交流プラザ

エ 市町村等連携女性プチ起業セミナー

市町村	開催日	参加者数	会場
さいたま市	10月5日	18人	さいたま市立大宮図書館
蓮田市	3月1日	19人	オンライン

オ 県人材活躍支援課連携女性のための起業入門セミナー

開催日	参加者数	会場
9月14日	48人	オンライン

カ 女性創業者交流会

開催日	参加者数	会場
9月16日	37人	新都心ビジネス交流プラザ

キ 女性ビジネスプランコンテストの開催

ロールモデルの輩出を通じて女性起業家の成長を促進するため、国内外で活躍する女性起業家を掘り起こし表彰するビジネスプランコンテストを実施した。

開催日	事業名	聴講者数	会場
11月5日	SAITAMA Smile Women ピッチ2022 最終審査会 (公開プレゼンテーション6社)	会場 99人 オンライン 453人	ソニックシティビル展示場及びオンライン配信

④ 社会課題の解決につながる創業支援

新しい技術やアイデアにより社会課題の解決を図ろうとする創業希望者に対し、集中型の支援を行い、創業を実現させた。

ア 伴走支援	14件
イ 補助金交付	8件（採択 9件）
ウ 補助金交付額	4,130千円

⑤ 起業支援金埼玉県事務局運営

県内の条件不利地域（過疎法、山村振興法対象エリア）における起業を創出するため、対象地域9市町村（秩父市、飯能市、本庄市、ときがわ町、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、神川町）で社会課題を解決する起業をした者に対し起業支援金を交付した。

ア 補助金交付	13件（採択15件）
イ 補助金交付額	16,650千円

## ⑥ ベンチャー成長支援

### ア 彩の国ベンチャーマーケットの開催

資金調達や販路開拓、事業提携などの課題を抱えるベンチャー企業を対象に、ベンチャーキャピタルや金融機関、大手企業、行政機関等との出会いの場を設け、ビジネスマッチングを図った。

開催日	事業名	出場企業数	来場者数
1月19日	令和4年度彩の国ベンチャーマーケット	6社	70人

### イ ベンチャー支援セミナーの開催

独創的なビジネスモデルや経営戦略を実践している起業家や経営者を講師に迎えたセミナーを開催した。

開催日	内容	参加者数	備考
2月7日	【論語と算盤塾】 「石坂流・サステナブル経営」 講師：石坂産業株式会社 専務取締役 石坂 知子氏	39人	会場：新都心ビジネス交流 プラザ4階 会議室 共催：新都心ビジネス交流 プラザ運営協議会

### ウ 交流会の開催

創業・ベンチャー支援センター埼玉の支援を受けて創業したベンチャー企業等相互の交流を図った。

開催日	事業名	展示企業数	来場者数
1月19日	令和4年度彩の国ベンチャーマーケットにおける交流会	7社	40人

## 3 販路開拓支援

### (1) 取引振興

#### ① 販路開拓支援

中小企業が有する加工技術や製品等を幅広くPRすることで受注拡大・販路開拓を図る展示会「彩の国ビジネスアリーナ」をリアル・オンラインでのハイブリッド形式で実施するとともに、対面形式による商談会の実施を通じて中小企業の取引拡大の機会創出を図った。

#### ア 商談会等の開催等

事業名	実績
彩の国ビジネスアリーナ 2023	リアル展示 2月8日・9日 出展者 443企業・団体 来場者 12,685人 オンライン展示 2月1日～15日 出展者 478（うちオンライン展示限定35）企業・団体 来場者 14,487人

事業名	実績
広域商談会	関東5県ビジネスマッチング商談会 9月13日 発注企業 89社／受注企業 177社うち県内47社 商談件数 270件 九都県市合同商談会 1月24日 発注企業 74社／受注企業 190社うち県内52社 商談件数 152件
地域別商談会	川口市受発注企業商談会 10月21日 埼玉県産業技術総合センター 発注企業 8社／受注企業 33社 商談件数 75件 上尾版ビジネス商談会 2月21日 上尾市文化センター 発注企業 3社／受注企業 21社 商談件数 53件 ※当初計画していた西部地域産業ミニ商談会、東部地域ビジネスマッチングフェアについては新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催中止となった。

イ 取引あっせん件数及び成約件数

あっせん件数	2, 825件
成立件数	117件

② 常設ビジネスマッチングサイトの構築・運営

オンラインを活用したビジネスマッチングサイト「サイタマ・サプライヤー・サーチエンジン」を構築し、受発注取引に係る情報の発信を通じて受注企業の取引拡大を支援した。

登録企業数	受注企業	230社
	受発注企業	12社
	発注企業	20社
発注案件数		15件

③ 取引マッチングの推進

取引マッチングコーディネーターを配置し、企業訪問等を通じて、発注案件の開拓、受注ニーズの把握、商談会等開催後及びあっせん後のフォローアップ等を行うことで受注企業の取引拡大を支援した。

訪問企業数	331社（発注企業127社／受注企業204社）
発注案件数	97件

④ 受発注情報の収集・発信

受発注企業の巡回訪問を通じて受発注取引に係る企業ニーズを収集するとともに、発注企業の外注計画や受注企業の設備状況等に関する調査を実施した。

ア 受発注企業巡回訪問

職員が受発注企業を巡回訪問し、発注案件の開拓及び受注ニーズの把握により受注企業の取引拡大を支援した。

訪問企業数	24社（発注企業15社／受注企業9社）
-------	---------------------

#### イ 調査情報提供

取引あっせんを行うための基礎情報として、主要発注登録企業における外注計画等の動向を把握するための調査や、受注登録企業における最新の事業概要・保有設備等の実態を把握するための調査を行った。

事業名	概要	実施回数
新規外注計画調査	発注登録企業を対象として外注計画の動向等を調査 第1回 5月26日～6月6日 調査対象企業 966社 回答企業 164社（回答率17.0%） うち新規開拓取組あり121社（73.8%） 第2回 12月7日～19日 調査対象企業 1,015社 回答企業 158社（回答率15.6%） うち新規開拓取組あり112社（70.9%）	2回
受注登録企業設備調査	受注登録企業を対象として保有設備等の実態を調査 1月30日～2月10日 調査対象企業 925社 回答企業 276社（回答率29.8%）	1回

#### ウ 企業情報の発信

広域的な受発注取引の促進を図るため、情報発信を希望する受注登録企業の情報を公社ホームページに掲載した。

掲載数	780社
-----	------

### ⑤ 取引に関する相談

#### ア 下請かけこみ寺相談

中小企業が抱える取引上の様々な相談に対応し、下請取引の適正化を図った。

主な相談概要	代金の支払い遅延、代金の減額 ほか
相談件数	367件

## (2) 海外ビジネス展開支援

### ① 海外ビジネス展開の支援

#### ア 海外展開ニーズの掘り起こし 225件

貿易投資や海外販路拡大等の県内企業ニーズを掘り起こし、ジェトロ埼玉と連携しながら海外ビジネス展開を支援した。

#### イ 彩の国ビジネスアリーナ2023・グローバルコーナー開設

海外ビジネス展開支援機関等を彩の国ビジネスアリーナ2023へ招待し、県内出展企業等との交流・取引促進を図った。

海外ビジネス展開支援機関等 4機関

#### ウ 国際情勢勉強会の実施 12回 406人

愛知淑徳大学真田教授を講師に迎えた国際情勢勉強会を実施し、県内企業の国際競争力の強化を図った。

## ② 海外展開オンライン化支援（e コマース活用）

### ア 海外EC活用支援事業補助金

海外ECサイトへの出店を通じた販路拡大に取り組む県内中小企業を支援するために補助金を交付した。

- ・ 交付件数 11件
- ・ 交付額 4,516千円

### イ 海外EC埼玉県特設ショップの開設・PR

海外ECサイト「Shopee（対象国：シンガポール、台湾）」内に埼玉県特設ショップを開設し、販路拡大を目指す県内中小企業の商品を出品するとともに、プロモーションを支援した。

Shopee シンガポール	支援企業数 20社 掲載商品数 94商品
Shopee 台湾	支援企業数 20社 掲載商品数 99商品

## 4 新産業振興

### （1）技術開発サポート

#### ① 総合相談の実施

- ア コーディネーター 13名
- イ 相談件数 2,281件

#### ② 補助金等獲得支援

##### ア 国庫補助金等の獲得支援セミナー ※オンライン配信

開催日	内容	参加者数
5月31日	事業再構築補助金活用ガイドセミナー	34人
1月17日	補助金獲得セミナー	39人

#### ③ 技術マッチング支援

受注獲得を支援するためマッチング会を実施した。

- 集団マッチング 4件
- 個別マッチング 378件

#### ④ 試作品作成・実証実験支援

試作品を開発する力をもった県内企業と自治体が連携して、当該自治体が抱える社会課題を解決するための取組を支援した。

- ア 健康寿命を延伸させる次世代型足指力計測器のデジタル化に向けた開発
- イ 高齢者等の交通弱者を救済するための新たな公共交通手段の導入

#### ⑤ 社会課題の解決に向けた企業連携型開発支援

社会課題の解決に資する新たな製品・サービスの早期事業化につなげるため、県内企業を中心とする複数企業が連携した開発に対して支援を行う。

- ア 今までに市場に存在しなかった新しいコンセプトのメス
- イ いちごの収穫量を予測する自律走行ロボット
- ウ 災害地で利活用できる「無人水陸両用車両」の開発
- エ 環境に配慮した新素材の開発（生ごみ処理機に使用する緩衝材）

## ⑥ 産学連携による新技術・新製品開発支援

大学と企業との連携による研究会を設置し、大学の知見を活かした県内ものづくり企業の技術開発力の向上を支援した。

- ア 「暑熱適応まちづくり」に向けた技術・商品の開発と評価手法に関する研究
- イ 内視鏡外科時代におけるエルゴノミクスサージカルチェアの開発
- ウ 多数超小型人工衛星システムの位置制御に関する技術開発研究
- エ シェアモビリティを題材としたデジタルツインによるものづくりの実証実験

## ⑦ セミナー・交流会

企業連携の促進や新規参入を支援するためセミナー等を開催した。

開催日	内 容	参加者数
5月31日	(オンライン開催) 事業再構築補助金活用ガイドセミナー	34人
9月22日	(ハイブリッド開催) 第1回埼玉航空機産業参入研究会 4発ティルト・ウィング VTOL 機の開発と今後の展望	20人
9月26日	(オンライン開催) 画像認識、AIを活用した先端的な製品開発支援セミナー	39人
10月 5日	(ハイブリッド開催) 第1回先端素材セミナー 1 革新的ミネラルプロセッシングが拓くサーキュラーエコノミー社会の実現 2 次世代素材セルロースナノファイバーとカーボンニュートラルへの取組	20人
10月31日	(オンライン開催) 第1回医工連携セミナー これからの医療機器デジタルものづくりを考える	25人
12月16日	(リアル開催) 第2回先端素材セミナー 1 CNT-銅複合エナメル線 2 面状発熱体/電磁波吸収フィルム/帯電防止フィルム	11人
1月17日	(オンライン開催) 第2回補助金獲得セミナー	39人
2月14日	(オンライン開催) 第2回医工連携セミナー こうすればうまくいく！医工連携の成功事例	28人
2月17日	(リアル開催) ロボティクスセミナー 産学連携によるロボット開発事例 ※オンデマンド配信：2月24日～3月10日 166人参加	50人
3月14日	(オンライン開催) 第2回埼玉航空機産業参入研究会 民間航空エンジン事業の現況と展望	19人



## (2) デジタルテクノロジー活用支援

### ① AI、IoT活用に向けた支援

#### ア 総合相談の実施

(ア) デジタル活用コーディネーターの配置	4名
(イ) 相談件数	516件
(ウ) DX戦略策定支援件数	7件

#### イ DXコンソーシアム運営

(ア) 中小製造業向けAI、IoTツール展示会の開催	1回
(イ) フォーラムの開催	2回
(ウ) AI情報サイトの運営(リニューアル)	1回

#### ウ ものづくりAI・IoT化支援

(ア) シングルボードコンピュータ活用研修	2回
-----------------------	----

#### エ DX普及セミナーの開催

DXに関する最新技術動向や活用事例を紹介するセミナーを開催した(オンライン配信)。

開催日	テーマ	参加者数
4月20日	令和4年度における埼玉県及び関係機関が推進するDX施策について等	139人
7月7日	DX先進企業の取組事例から学ぶ	130人
9月15日	環境変化と中小企業のDXの取組を考える	65人
11月18日	中小企業がチャレンジできるDXの取組を考える	112人
1月27日	DX・ビジネス変革への道筋を学ぶ	105人
3月10日	DXについて「考える」から「実践する」へ	75人

#### オ AI・IoT人材育成講座の開催

中小企業にAI、IoTを導入する人材を育成する講座を開催した。

開催日	テーマ	参加者数
9月1日 ～3月10日	オーダーメイド型AI・IoT研修	5社
9月7日 ～2月2日	AI・IoT人材育成研修(技術者養成コース)【15日間】	25人
9月16日 ～3月7日	AI・IoT人材育成研修(先端技術視察コース)【4日間】	27人
9月20日	AI・IoTツール導入実践研修①【1日間】	10人
2月21日	AI・IoTツール導入実践研修②【1日間】	10人

### ② DX推進支援

#### ア ワンストップウェブサイトの運営管理等

(ア) 運営管理	更新66回
(イ) 支援メニュー掲載	84件
(ウ) 掲載コンテンツの充実	5件

- イ DX推進ネットワークの運営  
 (ア) DX推進支援ネットワーク会議開催 4回  
 (イ) DXセミナー開催 4回
- ウ DX推進支援パートナーズ事業  
 (ア) DXコンシェルジュの配置 2名  
 (イ) マッチング相談 157件  
 (ウ) マッチングセミナー 11回  
 (エ) マッチング 184件
- エ DX推進人材育成  
 (ア) DX推進人材育成支援金補助 96件
- オ 地域DX促進活動支援事業  
 (ア) DX戦略策定支援 20社

### (3) 産学連携支援

#### ① 産学連携相談等の実施

「産学連携支援センター埼玉」にコーディネーターを配置し、県内中小企業からの産学連携相談に応じるとともに、大学・研究機関とのマッチング、共同研究体の形成や競争的資金の獲得などの支援を実施した。また、産学連携ネットワークマネージャーを配置し、大学等の有望な技術シーズの開拓などを実施した。

内 容	実 績
産学連携相談件数	1, 576件
マッチング支援数	184件
産学共同研究取組支援数	17件
競争的資金獲得支援数	32件 (うち獲得件数30件)

#### ② 産学連携支援ネットワーク事業

県内で産学連携に取り組む機関で構成する埼玉県産学連携支援ネットワーク会議を運営し、情報交換や県内中小企業を対象とした技術シーズ発表会を実施した。

開催日・テーマ	内 容	参加者数
5月27日 産学連携支援 ネットワーク 幹事会	令和4年度事業計画 新規構成機関紹介	20人
6月27日 産学連携支援 ネットワーク 会議	※書面報告 令和4年度事業計画 会議設置要領変更報告	38 構成機関

開催日・テーマ	内 容	参加者数
配信期間 6月21日 ～30日 第1回 産学連携技術 シーズ発表会 <b>【材料・化学分野】</b>	※オンライン開催 第1講演 食品・農業に適したpHセンサ 第2講演 臭気の可視化、目視でガスの検出が可能な有機蛍光体 第3講演 種々の用途に適用可能なDLCの活用事例 第4講演 自己偏析を活用したペロブスカイト太陽電池の高性能化 第5講演 機能性有機材料 第6講演 生体毒性の低い非ベンゼン系有機蛍光物質の生産と応用 第7講演 セルロースゲルで形成されたシームレスカプセルによる物質内包技術 第8講演 中部電力が有する開放特許の紹介	71人
配信期間 8月22日 ～31日 第2回 産学連携技術 シーズ発表会 <b>【環境・新エネルギー分野】</b>	※オンライン開催 第1講演 温泉や太陽光パネル背面のような100℃廃熱から電気をつくる小形発電装置 第2講演 非破壊・無侵襲な環境影響下の生物・細胞活性評価法 第3講演 天然ガス資源化のための簡便な転換プロセス 第4講演 シリコン負極への不純物添加でリチウムイオン電池の蓄電容量を劇的に改善 第5講演 自律型無人潜水機 (AUV) 第6講演 空間伝送型無線電力伝送とエネルギーハーベスティング事例紹介 第7講演 再エネ普及と安定電力供給の両立を実現するパワエレ電源の利用 第8講演 どんな床でも正しく振動計測できる評価法と集合住宅等での足音や飛び跳ねによる騒音対策 第9講演 無機材料でCO2の3R (削減・活用・循環) に貢献する 第10講演 中部電力が有する開放特許の紹介	128人
配信期間 9月20日 ～29日 第3回 産学連携技術 シーズ発表会 <b>【生命工学分野】</b>	※オンライン開催 第1講演 傷害予防に必要な新概念と材料特性による靴開発 第2講演 画像観測可能な新しい化学センサ 第3講演 ウィルス感染症の高感度・迅速検出 第4講演 スタッフ不足を解消する質の高いリハビリテーションシステムの開発 第5講演 細胞機能評価デバイスの開発 第6講演 安全な取扱いが可能な二本鎖DHA蛍光標識技術の開発 第7講演 竹リグノヘミセルロース成分と利用 第8講演 市販塩からの好塩菌の分離及びそれらが生産する好塩性酵素の諸性質解析と精製 第9講演 醤油諸味粕を減量・再資源化する好塩菌・耐塩菌探索 第10講演 挿入外来遺伝子の強力で均一な発現をおこす染色体上の位置の同定と当該位置への遺伝子挿入 第11講演 医用画像処理装置：肝癌の自動抽出プログラム 第12講演 小型で取扱いが容易な甲状腺ヨウ素モニタ 第13講演 キューピー株式会社が保有する開放特許の紹介	83人

開催日・テーマ	内 容	参加者数
配信期間 10月11日 ～20日 臨時開催 産学連携技術 シーズ発表会 【産業技術総合 研究所】	※オンライン開催 第1講演 溶液中における1分子動態分子間相互作用の定量技術 第2講演 抗菌性を発揮する骨再生材料 第3講演 腸内細菌を利用したアワビの成長促進技術 第4講演 電気化学エネルギーを用いる酵素反応の活用技術 第5講演 トンボ由来の紫外線反射・超撥水物質 第6講演 構造情報を利用した有用タンパク質のデザイン 第7講演 ヒト血清中の $\alpha$ 1-酸性糖タンパク質の発光定量法 第8講演 医療の自動化・遠隔化を目指したロボット支援技術 第9講演 アクチンペイント(AP)法：細胞形態の違いを染め分ける新しい細胞の染色法 第10講演 ウィルス不活化効果の高感度・迅速評価技術 第11講演 水酸化酵素の大規模スクリーニングを可能にするP450ライブラリ	48人
配信期間 11月15日 ～24日 第4回 産学連携技術 シーズ発表会 【エレクトロニクス・製造分野】	※オンラインによる講演配信 第1講演 固体充填物を利用した中空複雑形状部品の鍛造法の紹介と充填物としての繊維強化氷利用 第2講演 高品質な位置情報サービスを提供する屋内測位技術 第3講演 ナノレベルの平坦度を測れる測定技術 第4講演 ピエゾ抵抗カンチレバーを用いたMEMSセンサデバイス 第5講演 ナノ材料工学に基づく超高感度バイオセンサーの開発 第6講演 EV航続距離を延ばすアクセルペダルのエコな操作方法 第7講演 集積毛細管内蔵型化学・バイオセンサーの研究 第8講演 NHKが保有する開放特許の紹介	51人
配信期間 1月24日 ～2月2日 第5回 産学連携技術 シーズ発表会 【人間工学・ロボット分野】	※オンラインによる講演配信 第1講演 柔らかいアクチュエーターの原理とその応用 第2講演 段差のある現場を走破する電動運搬車 第3講演 身体動作インターフェースを利用したモビリティの操作 第4講演 展開車輪を用いた生活空間モビリティの提案と3Dプリンタを用いたプロトタイピング 第5講演 ヘルスケアを目的としたセラピーロボット・パートナーロボットの開発とその評価 第6講演 ユニバーサル・デザインプロセスによる機器デザインについて 第7講演 月面探査ローバの構造に発生する微小ひずみを利用した地盤状態推定 第8講演 世界の放射能汚染が見える化 第9講演 JAEA櫛葉における遠隔技術開発推進の支援	99人

開催日・テーマ	内 容	参加者数
配信期間 3月20日 ～29日 第6回 産学連携技術 シーズ発表会 【農業・食品・ 化粧品に利用 される技術】	※オンラインによる講演配信 第1講演 微生物の有効利用について 第2講演 減塩パンの製造方法について 第3講演 パンの食感などを制御する技術について 第4講演 「竹」抽出物及び免疫賦活組成物並びにそれらの製造 方法について 第5講演 有用タンパク質の増産を目指した新規エピトープタグ の開発	51人
3月29日 産学連携支援 ネットワーク 会議「総会」	令和4年度事業報告 令和5年度事業計画	26 構成機関

### ③ 産学連携に関する情報提供、交流の促進

大学・研究機関の技術シーズの展示紹介や産学連携マッチングサイトを運営し、企業とのマッチングを実施した。また、工科系大学シーズマッチング会や補助金活用セミナーなど、オンライン上で交流の場を提供した。また、メールマガジンによる情報発信を行った。

開催日・テーマ	内 容	参加者数
2月 8日 ～9日 産学連携 フェア	彩の国ビジネスアリーナ2023での併設開催 ■大学・研究機関紹介 7大学5機関等 展示ブース相談者 161名 展示ブースマッチング 20件	1,177人
配信期間 11月 1日 ～10日 工科系大学 シーズマッ チング会 in 東京 電機大学	※オンライン開催 第1講演 マルチメディアコンピューティング技術に関する研 究紹介 第2講演 XR技術を利用した行動変容のための人間行動計測技術 第3講演 第一次産業における屋内外IoT利活用プラットフォームに関する研究 第4講演 制御理論のメカトロニクス機器への応用 第5講演 ハイパースペクトル画像認識とその実応用	42人

配信期間 12月5日 ～16日 工科系大学シ ーズマッチン グ会in埼玉 県立大学	※オンライン開催 第1講演 PHR(Personal Health Record)を用いたロコモ・フレイル予防 第2講演 地域でケアを担う職種の人材育成とそれに伴うサービス提供の提案 第3講演 膝関節疾患の発症と運動療法の効果検証 第4講演 高齢者の動きの巧みさを生み出す体操と計測技術 第5講演 呼吸筋と胸の動きに着目した評価・トレーニング支援機器開発 第6講演 障害予防のための新コンセプトによる靴の中敷きの開発 第7講演 昼間の活動と夜間睡眠の関係 -子どもから高齢者の睡眠と健康を考える- 第8講演 デジタルトランスフォーメーション時代における高齢者への支援プログラム開発 第9講演 電子顕微鏡を用いた細胞診検査法の開発 第10講演 超高齢社会に対応する歯ブラシのデザインと口腔機能向上エクササイズアプリ開発	56人
1月17日 補助金獲得 セミナー	※オンライン開催 補助金活用、計画書執筆	39人

内 容	実 績
産学連携支援メールマガジン	配信回数 12回

#### (4) 知的財産支援

##### ① 知的財産の相談支援

独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）から窓口運營業務を受託し、オンラインや電話による相談に対応するとともに、新規相談者の普及・啓発を行った。専門性の高い相談に対しては、弁理士・弁護士による専門相談をオンラインで実施した。

内 容	実 績
相談件数	2,862件 (うち専門相談 94件)

##### ② 知財力経営力向上支援

コロナ禍で事業環境が変革する中、未来における自社の在りたい姿を構想する知財経営力向上支援セミナーを開催するとともに、その実現に向けた横断的伴走支援を実施した。

また、県内企業の製品化・事業化支援として、大手メーカーの保有する開放特許を紹介し、マッチング支援を実施した。

内 容	実 績	参加者数
個別支援件数	177件 (横断的支援企業数34社)	—
知財経営力向上支援セミナーの開催	第1回オープンセミナー ※オンライン開催 5月16日 「HONDA流YG(ワイガヤ) Innovation Facilitator ワークショップ」	10人

内 容	実 績	参加者数
知財経営力向上支援セミナーの開催	第2回オープンセミナー ※彩の国ビジネスアリーナ2023にてオンライン開催 2月1日～2月15日 「イノベーションはどのように予測し起こすのか～ 未来予測&既存アセットを活かした新規事業の作り方～」	176人
開放特許活用支援	企業の開放特許をオンラインで紹介した 第1回技術シーズ発表会（6/21～6/30） 1社 材料・化学領域分野 第2回技術シーズ発表会（8/22～8/31） 1社 環境・新エネルギー分野 第3回技術シーズ発表会（9/20～9/29） 1社 生命工学分野 令和4年度開放特許シーズ発表会（3/7～16） 6社	—

### ③ 外国出願支援事業

優れた特許等を有し、かつ、海外において戦略的に活用しようとする県内中小企業に対し、外国特許庁への出願支援を行った。

国別の出願状況は、米国10件、中国7件、欧州6件、台湾1件、タイ1件などである。

支援企業数	内 訳
12社	12件（特許10件、商標2件）

### ④ その他

ア 埼玉県発明協会受託事業

（一社）埼玉県発明協会と業務委託契約を締結し、「児童生徒発明創意くふう展」等業務の一部を実施した。

## （5）業態転換支援

### ① 事業化支援

コーディネーターが相談に対応するとともに事業計画策定などの支援を行った。

ア コーディネーター 6名  
イ 相談件数 1,294件

### ② 業態転換関連セミナー

ア 研究会、セミナー

新製品開発や新規参入を支援するためセミナー等を開催した。

（ア）モータ・パワエレ・水素研究会 ※オンライン配信

開催日	内 容	参加者数
7月13日	①各社のEV戦略を読み解く ②モビリティ向け燃料電池および定置発電向け燃料電池について	51人
10月19日	①日産 新型ARIYA搭載の磁石レス巻線界磁モータ ②ホイールEV向けダイレクト駆動システムの開発	36人
1月25日	①日産 新型EVサクラ向け電動パワートレインの開発 ②ホンダ中型e:HEV用パワーコントロールユニット開発	57人

## (イ) CASE研究会 ※オンライン配信

開催日	内 容	参加者数
8月30日	①自動車産業の現状と将来のあり方について ②CNと防災に寄与する東京電力の新しい電化・V2H	54人
12月19日	①地域ニーズに立脚した次世代モビリティ ②新しいモビリティによる地域活性化の取組み	35人
3月28日	①自動運転の実現に向けた取組みについて ②自動運転の安全技術	27人

## (ウ) カーボンニュートラル普及セミナー ※オンライン配信

開催日	内 容	参加者数
9月13日	①カーボンニュートラルと地域企業の対応 ②カーボンニュートラルに向けた動向と Honda の取組み	97人
10月26日	①カーボンニュートラルに向けた省エネのススメ ②2035年工場におけるカーボンニュートラルに向けたチャレンジ	85人
2月14日	①カーボンニュートラルに向けた環境省の取組 ②カーボンニュートラルに向けた経済産業省の支援策 ③中小企業等向け脱炭素・省エネ支援制度 ④カーボンニュートラルの実現を目指す工業塗装業者の取組	45人

## (エ) 次世代自動車技術講演

開催日	内 容	参加者数	会 場
※動画配信 2月1日 ～15日	F1 レースパワーユニットの開発 ～ドライバーズチャンピオン獲得までの道のり ～	234人	新都心ビジネス交流プラザ
3月9日	① BEV時代を見据えた、自動車中小部品製造・加工企業のイノベーション ②業態転換に取り組む企業の事例紹介	49人	オンライン

## イ 交流会

大手メーカーとのマッチング機会を提供するためマッチング交流会を開催した。

開催日	内 容	参加者数
12月1日 ～2日	トヨタ展示商談会	49社
2月20日 ～21日	ホンダシーズマッチング	10社



## 5 人材育成・情報支援

### (1) 人材育成

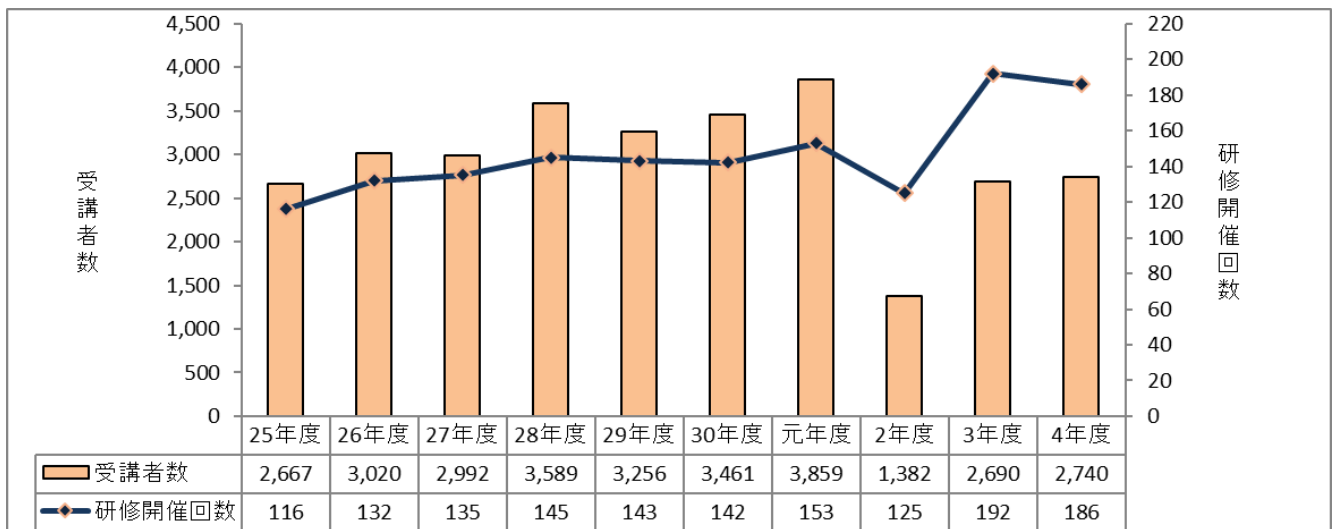
#### ① 研修

中小企業を対象とした研修機関として、経営環境の変化に対応できる人材の育成を目的に、WEB研修を取り入れながら新入社員から経営幹部までの各層に合わせた階層別研修や生産力向上研修などを186回開催した。

新型コロナウイルス感染症の再拡大等の影響による受講控えや受講キャンセルで7回を中止したものの、企業ニーズの高い階層別研修の「若手パワーアップ研修」、実務スキル研修の「職場のコミュニケーション活性化研修」などの6回を追加開催した。

集合研修では、定員を減らすとともに検温などの徹底した感染防止対策を行った一方、オンラインニーズにも対応し、新入社員研修をWEBで3回実施するなど、合わせて24回をWEBで実施した。

研修受講者数と開催回数の推移



#### ア 階層別研修

##### (ア) 新入社員・若手社員研修

新入・若手社員を対象に、社会人としての心構えを再確認するとともに、基本的なマナー、言葉づかい、職場のコミュニケーションとチームワークの大切さ、セルフマネジメント等を通して、積極的かつ自律的に仕事に取り組めるようになる研修を30回開催した。

##### (イ) 中堅社員研修

中堅社員を対象に、仕事の管理、問題解決、リーダーシップ、現場力・組織力を高めるスキル、部下や上司とのコミュニケーション力、コーチングテクニックなどの問題解決のためのスキルや心構えを学び、その果たすべき役割と責任を認識させて能力向上につながる研修を11回開催した。

##### (ウ) 管理者研修

新任管理監督者及び管理監督者を対象に、管理監督者として必要な知識・役割、リーダーシップと部下の育成等について、事例演習を通してマネジメント力を習得する研修を10回開催した。※オーダーメイド出前研修及び通信教育を除く

(エ) 経営幹部・経営者研修

経営幹部・経営者を対象に、経営職の満たすべき条件と求められる対応力など、経営幹部・経営者として必要な能力向上等を図る研修を5回開催した。

イ 生産力向上研修

生産現場における効率化や品質向上、設備保全・安全作業などの基礎的なスキルを習得する研修を29回開催した。

ウ 実務スキル向上研修

業種業態にかかわらず、実務のスキルアップに役立つ知識や技法を習得する研修を50回開催した。

エ 機械実技訓練研修

中小企業の製造現場で働く若手社員を対象に、県立高等技術専門校と連携して旋盤・フライス盤・マシニングセンタなどの生産設備の基本的な使い方や、設計図の見方・作り方、材料の生かし方など、生産設備の基本を学ぶ技能研修を27回開催した。

オ 地域密着研修

川越・熊谷・草加の3地域において、人気の高い現場改善や中堅社員ビジネススキル、測定機器の基礎知識を学ぶ測定基礎などに関する研修を9回開催した。

カ コンパクト研修

忙しい営業部門や管理職・経営幹部等にも受講しやすいように、カリキュラムをコンパクトにまとめた研修（3時間）を15回開催した。

キ 特別研修

(ア) オーダーメイド研修

個別企業のニーズに合わせた研修カリキュラムを設計して実施する企業訪問型の研修を29回（32日間：延べ受講者602名）開催した。

(イ) 通信教育

社員の自己啓発及び業務遂行能力の向上を図る通信教育を（株）日本能率協会マネジメントセンターと提携して実施し、29名が受講した。

令和4年度 研修実施実績

分 類		回数 (回)	総日数 (日)	受講者数 (人)	
一 般 研 修	階層別研修	新入社員・若手社員研修	30	51	763
		中堅社員研修	11	20	202
		管理者研修	10	16	142
		経営幹部・経営者	5	5	36
		(小 計)	56	92	1,143
	生産力向上 研修	生産管理	9	17	131
		現場改善	8	12	132
		品質管理	4	7	58
		安全・保全	6	8	87
		購買管理	2	3	17
		(小 計)	29	47	425
	実務スキル 向上研修	財務・会計	2	2	22
		人事・労務	5	8	54
		営業力強化	7	7	82
		効率化	5	7	74
		組織活性化	12	12	194
		技法習得	7	8	110
		I S O	12	29	199
		(小 計)	50	73	735
	機械実技訓練研修		27	72	164
	地域密着研修		9	9	107
コンパクト研修		15	15	166	
<b>一般研修 合計</b>		<b>186</b>	<b>308</b>	<b>2,740</b>	
特 別 研 修	オーダーメイド研修	29	32	602	
	通信教育	—	—	29	
	<b>特別研修 合計</b>	<b>29</b>	<b>32</b>	<b>631</b>	
<b>合 計</b>		<b>215</b>	<b>340</b>	<b>3,371</b>	

② 明日を担うものづくり人材育成事業

県内工業高等学校等と連携を図りながら、将来のものづくりを担う人材の育成を図った。

ア 高校生ものづくりコンテスト

県内の工業高校生を対象に埼玉県工業教育研究所が実施する「ものづくりコンテスト」に協賛し、上位入賞者に理事長賞を授与した。

開催日	部 門	会 場
6月 4日	旋盤作業	ものづくり大学 (行田市)
6月18日	化学分析	県立川越工業高等学校 (川越市)
6月25日	電気工事	埼玉県電気工事工業組合 (さいたま市)
6月26日	測量	県立いずみ高等学校 (さいたま市)
7月22日	木材加工	日本工業大学 (宮代町)
8月 2日	電子回路組立	日本工業大学 (宮代町)

## (2) 情報支援

### ① 中小企業情報提供事業

中小企業が直面している様々な経営課題などに関する情報等を収集・分析・加工し、情報誌やメルマガ、会員優待セミナー等で迅速に提供した。

#### ア 月刊情報誌の発行

公社事業を広く紹介するほか、県内企業の紹介や法律、税制、国際化など、経営に役立つ情報を幅広く、またタイムリーに提供した。

情報誌「アクセス埼玉」の発行 12回

(A4判20ページ 3,000部発行)

#### イ アクセス埼玉文庫の発行

「現場改善 ムダ取りの基本」シリーズ1～5巻を合計47冊頒布した。

#### ウ 企業経営座談会の開催

開催日	内 容
11月24日	テーマ：「SDGs経営とサーキュラーエコノミー」 出席者：カネパッケージ株式会社 常務取締役 高村 賢二 様 株式会社木下製館 代表取締役 木下 信次 様 株式会社長谷川製作所 代表取締役 長谷川 正 様 司 会：埼玉県産業振興公社 海外支援アドバイザー 村岡 滋 掲載月：アクセス埼玉 令和5年1月号

#### エ 賞与予測調査の実施

公社利用の県内中小製造業を対象とした賞与予測調査を実施し、公社会員に対して経営情報として提供した。

事業名	概 要	実 績
賞与予測調査の実施 (2,000社対象)	<夏季> ○支給予定額、予定月数とも微増 コロナ前の水準にはわずかに届かず ・平均支給予定額 417,707円 (8,749円増) ・平均支給予定月数 1.58か月 (0.06か月増)	2回
	<冬季> ○支給する企業81.1% (5.9ポイント増) 支給予定額、予定月数ともに増加 ・平均支給予定額 442,917円 (14,626円増) ・平均支給予定月数 1.62か月 (0.01か月増)	

#### オ 会員優待セミナーの開催

公社会員サービスの一環として、中小企業の経営課題や話題の最新情報をテーマに、セミナーをWEBで8回開催した。

開催日	テーマ	参加者数
5月20日	DX入門セミナー 本質を理解し事業の成長戦略を描く！	29人
9月22日	中小企業のための今すぐできる「業務カイゼン」セミナー デジタル技術で現場が変わる！	36人

開催日	テーマ	参加者数
10月7日	D X活用セミナー ～顧客へのアプローチを最適化するカスタマージャーニーを学ぶ！～	23人
10月27日	ものづくりの新しい形 ～ものづくり企業の技術とデザイナーのアイデアとの融合～	24人
12月8日	ダイバーシティ時代の人材育成マネジメントセミナー	21人
1月23日	税制改正に対応するための準備はお済みですか？ 「インボイス制度・電子帳簿保存法対応セミナー」	84人
2月14日	5 S活動×その気にさせる心理学＝『新5 S思考術』	95人
3月14日	情報セキュリティ対策セミナー ～事例からリスクとセキュリティ対策の必要性を学ぶ～	36人

#### カ 公社会員等交流事業

公社会員企業相互の交流と企業間ネットワークづくりを促進するため、経営者、後継者、経営幹部が一堂に会する講演会及び情報交換会を実施した。

開催日	内容	参加者数
3月3日	公社会員感謝の集い テーマ：「菊地弁護士から学ぶ中小企業経営者が注意すべき法律問題」 講師：番町法律事務所 弁護士 菊地幸夫 氏	139人

#### 公社会員数の推移

(単位：社)

	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
公社会員数	1,417	1,425	1,378	1,380	1,369

(令和4年度における入退会の状況)

新規入会	退会	会員数増
73	84	▲11

#### キ 会員専用サイトの構築

研修の先行申込み、研修申込み履歴及び受講料の支払い状況の確認、申込み時の入力簡素化、動画オンラインサービスの視聴、アクセス埼玉のバックナンバーの閲覧など、会員サービスの向上につながる会員専用サイトを構築した。

#### ク 動画オンライン配信及びDVDの貸出

動画オンライン配信サービスの提供とともに、引き続き経営や技術、人材教育などに関するDVDの無料貸出を実施した。

##### (ア) 動画オンライン配信サービス

- ・総アクセス数：2,410アクセス
- ・アカウント別：556アクセス

##### (イ) DVD貸出サービス利用数：延べ7社・18本

## ② ICT活用サポート事業

中小企業の情報化を促進するため、ビジネスソフトのICTスキルアップ研修等を実施した。

#### ア ICTスキルアップ研修

利用頻度の高いビジネスソフト（表計算・プレゼンテーション・データベース）やインターネットを有効活用するための講座を28テーマ・45回開催した。

講座名	回数	受講者数
エクセル関連（9テーマ）	23回	205人
パワーポイント（2テーマ）	2回	19人
アクセスデータベース（2テーマ）	3回	17人
ホームページ作成関連（9テーマ）	11回	86人
業務効率化&営業力アップ関連（3テーマ）	3回	21人
コンパクト（3テーマ）	3回	20人
合計	45回	368人

#### イ バックリンク支援事業

公社ホームページにバックリンク専用サイトを構築し、中小企業のホームページのSEO対策を支援した。

リンク企業数 1, 127社

### ③ 公社内ICT管理事業

#### ア 公社内ICT管理

クラウドサーバーの整備、メールセキュリティ対策ソフトの導入、情報セキュリティポリシーの改定、公社共通企業データベースやグループウェア（サイボウズ）の管理・運用により、公社内の情報共有を推進した。

#### イ インターネット情報提供

公社実施事業をより積極的にPRするとともに、企業経営に役立つ情報の提供に努めた。

公社ホームページ	アクセス数 1, 011, 520件/年
公社メールニュース	配信回数 24回（毎月2回） 登録者数 5, 249人

## 6 その他

### ① 投資育成事業

平成16年度に統合した（財）埼玉県創造的企業投資育成財団（SAFIC(サフィック)）の事業を引き継いで実施しており、ベンチャー企業投資育成事業の投資先企業2社に対して経営支援を行った。

#### ア 投資先企業等への支援

事業名	実績	概要
フォローアップ事業	27回	ベンチャー企業27回 個別訪問等によるフォローアップを実施

### ② その他

#### ア 職員の能力開発

公社職員の専門能力の向上を図るため、各種専門研修や公社実施の研修講座への参加を促した。

イ 公社管理運営

全職員を対象に、令和5年10月より始まるインボイス制度について、制度の概要・社内事務処理の変更点について確認する研修を開催した。また、職員の交通安全への意識を高めることを目的とした研修を開催した。

さらに、感染拡大防止策を徹底しながら、新しい働き方に向け環境整備に努めた。

ウ 貸与事後処理

設備貸与事業の償却債権について、債務者又は連帯保証人に対して電話による継続的な督促を行って回収に努めた。